

120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101
灯台下暗し	天は二物を与えず	出る杭は打たれる	鉄は熱いうちに打て	敵は本能寺にあり	鶴は千年、亀は万年	角を矯めて牛を殺す	月とすっぽん	沈黙は金、雄弁は銀	塵も積もれば山となる	提灯に釣り鐘	短気は損気	玉磨かざれば光なし	旅は道連れ世は情け	旅の恥はかき捨て	棚からぼた餅	蓼食う虫も好き好き	立つ鳥跡を濁さず	立っているものは親でも使え	ただより高いものはない
サ	カ	ソ	ウ	イ	セ	タ	ク	テ	ケ	キ	ス	ア	オ	ツ	シ	チ	コ	ト	工

ト	テ	ツ	チ	タ	ソ	セ	ス	シ	サ	コ	ケ	ク	キ	カ	オ	工	ウ	イ	ア
そばで立っている人に頼むべきだ。	急ぎの用事があるときには、たとえ親であったとしても、うまく話すことも重要だが、それ以上に沈黙していることの方が価値があることもある。	旅先には自分を知る者もいないので、恥ずかしい行いも平気です。	辛い夢を好む虫もいるように、人の好き嫌いはさまざまだということ。	少しの欠点を直そうとしてやりすぎてしまい、かえって全体をだめにしてしまうこと。	才能があつて抜きんでている人や、でしゃばっている人は、嫉妬されたり、憎まれたりするということ。	寿命が長くて、めでたいことのととえ。	短気を起こすと、いらいらしたり、他人と衝突したりして、損をすることになる。	予想もしていなかった幸運が舞い込むことのととえ。	身近なことほど案外気づきにくいものだ。	立ち去るときの後始末は、見苦しくないようにきちんとするべきだということ。	小さなことも継続すれば膨大なものとなる。だから小さなこともおろそかにするべきではない。	二つの物が、形は似ていても、比べられないくらいに差があることのととえ。	形は似ているが実際は違いすぎて比較にならないこと。つまり合いがとれないこと。	天は一人の人間に、たくさんの長所や才能を与えることはないということ。	一人で旅するよりも同行者がいたほうが心強いように、世の中でも互いに助け合い生きることが大切だということ。	ただで物をもらうと、お礼にお金がかかったり、その人に頼みごとをされたりと、かえって高くつくということ。	① 考え方の柔軟な若いうちに鍛えておいた方がよい。② 情熱を持って事に当たれる時期を逃してはいけない。	本当の目的が全く別のところにあることのととえ。	才能や素質があつても努力なくして真価を発揮することはできない。